

学年	高校 1 年	教科	国語科	科目	言語文化	単位数	3
教科書名		高等学校 言語文化 (第一学習社)		副教材名	読んで見て覚える 重要古語単語 315 三訂版 (桐原書店) 新精選 古典文法 (東京書籍) 新精選 古典文法演習ノート (東京書籍) 精説漢文 改訂版 (いっずな書店) 精説漢文 改訂版演習ノート (いっずな書店)		
コース・クラス		一貫クラス					

I. 目標

- 1 国語を適切に表現し的確に理解する能力を養成し、伝え合う力を高める。
- 2 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- 3 書かれたものに触れることで、思想や人間のありようを知る。

II. 授業のねらい

- 1 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深める。
- 2 目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めること。
- 3 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めること。
- 4 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして理解し、知識を身につけること。
- 5 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけること。

III. 授業の進め方

- 1 文章内容の理解を主とし、発問形式による教授方法やグループ学習によって学習を進める。
- 2 副教材を適宜使用し、確認テストを実施する。
- 3 古文では、『新精選 古典文法』、漢文では、『精説漢文』等を使用して文法事項を学習する。

IV. 学習上の留意点

- 1 新しい単元に入る際は、古文漢文の重要事項を確認すること。
- 2 授業中には、板書や必要な情報をメモすること。
- 3 配られた資料は、ファイリングをし、必ず保存管理すること。
- 4 毎時教科書、副教材を授業前に準備し、机の上に置いておくこと。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 用言、助動詞の活用・『宇治拾遺物語』・古文単語・初見問題
- 1 学期 期末試験 : 用言、助動詞の活用・『伊勢物語』・古文単語・漢文基礎知識・初見問題
- 2 学期 中間試験 : 助動詞の活用・『枕草子』・古文単語・漢文『戦国策』・初見問題
- 2 学期 期末試験 : 助動詞の活用・『土佐日記』・古文単語・漢文漢詩・初見問題
- 3 学期 学年末 : 古文文法総復習・古文単語・漢文『戦国策』・初見問題

VI. 評価の方法

- 1 定期試験・進研模試・スタサポ…授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト…計画的に学習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	・用言の活用 ・『宇治拾遺物語』（児のそら寝） ・助動詞の活用（ず・き・けり・	・小テスト ・提出物 ・定期試験 ・進研模試	・用言（動詞・形容詞・形容動詞）を理解する。 ・本文中に出てくる用言を認識できる。 ・打消、過去、完了の助動詞を理解する。 ・文章を用い、上記の助動詞を認識し、現代語訳できる。 ・古文基礎知識や古文単語、既習文法をふまえて現代語訳し、内容を理解する。
	5	つ・ぬ・たり・り） ・初見対策		
	6	・『伊勢物語』芥川 ・助動詞の意味識別（む・むず・		
	7	らむ・けむ・べし） ・和歌の修辭法 ・訓点の復習と漢文基礎知識 ・漢文句法（比較・比況） ・故事成語『戦国策』漁父之利 ・初見対策		
二学期	9	・助動詞 （る・らる・す・さす・しむ） ・『枕草子』（中納言参りたまひ	・小テスト ・提出物 ・定期試験 ・進研模試	・受身・可能・自発・尊敬・使役の助動詞を理解する。 ・文章を用い、上記の助動詞を認識し、現代語訳できる。 ・敬語の種類を理解する。 ・文章を用い、敬語を認識し、現代語訳ができる。 ・漢詩の基礎知識を理解する。 ・漢詩を用い、作者の心情を理解できる。 ・時代背景、作者の心情を理解する。 ・文章を用い、助動詞の意味を識別し、現代語訳できる。 ・演習問題に取り組むことで、文法の重要性を知る。
	10	・敬語 ・漢詩（春暁、江雪、春望） ・初見対策		
	11	・『土佐日記』（筒井筒） ・助動詞 （ぬ・なり意味の識別）		
	12	・初見対策		
三学期	1	・漢文句法（疑問、反語） ・『戦国策』蛇足 ・助動詞（じ・まじ・めり・なり）	・小テスト ・提出物 ・定期試験 ・進研模試	・漢文の基礎知識を理解する。 ・文章を用い、漢文句法（疑問・反語）を認識し、現代語訳できる。 ・打消推量・伝聞・推定の助動詞を理解する。 ・演習問題に取り組むことで、文法の重要性を知る。
	2	・初見対策 ・古文漢文文法総復習		
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。